

ウェスレー・メソジスト学会

(総会・研究会) on ZOOM



2024 9 / 9 (月) 日本基督教団・

渋谷教会 1 F

1 : 30 ~ 2 : 00 総会

2 : 30 ~ 3 : 00 小研究発表 坂本誠「ウェスレー兄弟の確執」

兄弟で、メソジスト運動を牽引してきたジョンとチャールズ。それぞれがメソジストに対する思いがあり、家庭があり。確執な関係も露呈されます。興味深い課題にメスを入れてくださいます。

3 : 00 ~ 5 : 00

日本における メソジストとホーリネスの源流

昨年の学会誌で、思いも書けず、日本におけるメソジストの源流となる本多庸一研究と、ホーリネスの中田重治の影響のもと広がる韓国のホーリネス教会の中心となったイ・ミョンジク（李明植）についての論文が揃いました。

この二つの論文は長編で、前編が前号、後編が今号にならびます。そこで本多泰氏（渋谷から）と朴清民氏（ホーリネス教団・南福岡教会から）講演をお願いしました。

講演者は45~50分、前半のまとめと後半の展開、そしてそれぞれに応答をいただきます。

研究会は対面、ならびにzoomで行われます。

右のQRコード。アプリからは

ミーティングID 824 024 2962

パスコード MjXiW4 (MXWは、大文字)



研究会の趣旨

昨年、長年会長を務められた田添禧雄先生が正式に引退され、ご夫妻で神戸に引っ越されました。学会は山本美紀氏（青山学院大学教育学部教授）を会長に立て、かわらず活動を続けています。こうした案内を発送する責任を持っている藤本満が怠慢で遅れてしまいましたこと、申し訳ありません。

昨年は思いもかけず、新入会員から論文が寄せられました。本多泰氏、朴清民氏、森下滋氏、そして阿部頌栄氏（仙台富沢教会）。今年は阿部氏に発表をお願いしたところ、他の学会での発表があり、準備が重なるとのこと。そこで坂本誠先生に打診し、快くお引き受けいただきました。

今年発行された学会誌24号で、会長の山本美紀氏が、このお二人の論文を以下のように紹介しています。

本多泰氏は、日本のプロテスタント教会創立を担った本多庸一（横浜バンドで受洗、さらに初代日本メソヂスト教会初代監督）の初期の動き・出会いをまるで歴史ドラマを見ているかのように生き生きと描いている。本多氏の論文は前半であり、後半は2025年号に掲載される。

かたや、明治期に本多庸一に送り出され、アメリカのホーリネス運動の感化を受け、帰国後にカウマンと共に東洋宣教会を設立した中田重治から洗礼を受けた（1909）、韓国のイ・ミンジク（李明植）は、帰国して韓国で「聖潔教会」を設立し、福音主義キリスト教の中心的働きを担う。朴清民（パク・チョンミン）氏の論文は、今号がイ・ミンジクの生涯、神学については2025年号に掲載される。

もとを辿るとウェスレーにつながるメソヂストとホーリネス系諸派の大作論文が2本揃ったことは神の摂理としか言えない。

神が格別な摂理をもって揃えてくださった論文ですが、著者との対面も、その肉声にも触れていません。本学会は、メソヂスト系とホーリネス系、加えて救世軍と、ウェスレーからの流れを包含していますので、お二人がご講演いただくことには意義があります。さらに25号に後半が掲載されるにあたって、その枢要なポイントを講演でうかがうことができます。

今回も、渋谷教会をお借りします。同時にZoom参加も大歓迎です。朴氏は福岡で多忙のゆえに、Zoomからの講演となります。共にご参加ください。

厳しい暑さのゆえ、またコロナや様々な感染症が流行している夏ですが、みなさんが守られますようにお祈りしています。

2024年8月7日 藤本満

会長 山本美紀